

「月刊！スポ協ナビ」7月24日（木）

～豊橋水泳協会の方に『水泳』の魅力について伺いました～

出演 豊橋水泳協会 天野明彦会長、古田哲也理事長

豊橋市スポーツ協会 金田英樹

FM とよはし いいだまき



（いいだ）

はい、始めました。月刊！スポ協ナビ、毎月4週目のこの時間にお届けしております。10月10日が体育の日だった時代を経て、毎年10月の第二月曜日に変わり、そして、名前も体育の日から、スポーツの日に。それに伴って。2020年豊橋市体育協会も豊橋市スポーツ協会となりました。今豊橋市で、どんなスポーツの大会が開催されているのか、どんなスポーツが強いのか

そんな話題を通して、スポーツの魅力をお伝えするコーナーです。さあ、今日も豊橋市スポーツ協会から金田さんにお越しいただいております。こんにちは。

（金田）

こんにちは。よろしくお願いします。

（いいだ）

先日は岩田運動公園の夜店どうでしたか？

（金田）

そうなんですよ。前回の放送でPRさせてもらいましたけれども、7月5日から始まって6日間開催しました。ざっとなんですが、延べでおよそ三万人なんですよ。まあカウントしたんですけどね。三万人の市民の方々に岩田運動公園にお越しいただきました。一日あたりに換算すると、五千人ですね。2日目にいいださんにもお越し頂きまして一緒に回りましたけれども、どんな感想をお持ちですか？

（いいだ）

いや、ほんとにちびっこ始めの地元の方がすごくて。あの何て言うんでしょう。歩いてきている方が多いですね

（金田）

駐車場がないというアナウンスもしてるもんですから、自転車もしくは歩いて公園に来ていただいている方は多かったと思いますね。市電でいらっしゃる方もみえましたし、ホントに市民の方、こういったイベントを楽しみにしているんだなっていうのは改めて思いましたね。

（いいだ）

市民の皆さん待ち望んでいたんだなとひしひしと伝わってきましたけどね。

（金田）

私たちの目的とすると、岩田運動公園に来てもらって、ここにあるスポーツ施設ってこんなものもあるんだよっていうことをわかってもらいたいというのも、目的の一つでもありますけれども、楽しんで帰っていただけたっていうのは、本当嬉しいかなと思います。あと2日の残されてるんですが、7月26日、27日とありますが、26日は、野球場のスタンドを開放しますので、そちらの方で食事して頂いたりですね、スコアボードも動かしますので、文字が出たりとか映像が出たりとかっていうのを見てもらえたら良いかなと思います。これまで来たことのある人や初めて来られる人もですね、ぜひお越しただけるとありがたく思います。

そして、今月のゲストについてですが、加盟団体の方に今回出演をお願いしておりますので、いいださんの方からご紹介の方お願いいたします。

（いいだ）

はい、ありがとうございます。今日は豊橋水泳協会の方々をお願いしております。会長の天野明彦さんと理事長の古田哲也さんのお二人です。よろしくお願いいたします。

（天野、古田）

よろしくお願いいたします。

（いいだ）

天野さんが会長さんで古田さんが理事長さんということで、お二人ともね、一応長がついていらっしゃるんですけども、あのツートップということなんです

か。

（金田）

会長さんの下に、副会長さんも見えるんですか？

（天野）

そうですね。会長の下に副会長、その下に小学校理事、中学校理事、高等学校理事とかがあってそのトップとして理事長という形でお世話してもらっています。いろんな事業の最終的な確認とか資料を作ってもらったりして実施してっていう形です。

（いいだ）

まだ、すごいわ若く見えるんですけどね。水泳選手ですか？

（古田）

いえ、選手は引退してるんですが・・・。

（いいだ）

選手は引退して、今は事務方というか、選手の皆さんのいろいろなこうサポートっていう役割ですか？

（古田）

そうですね。大会では、選手の人たちが気持ちよく泳げるようにと、この後の話に出てきますが、水泳教室とかで、いろんな人に水泳に親しんでもらいたいなって思って頑張っています。

（いいだ）

そのお二人にお話をお伺いしていきたいと思います。よろしく願いいたします。では、豊橋水泳協会が設立してからどのくらい経つんですか？

（天野）

豊橋水泳協会は大変歴史のある協会です。スポーツ協会の機関誌やなんかに書いてありますが、昭和 4 年 5 月に、関屋町のところにある清川なかじさんの所を本拠地として豊橋水泳協会という形で独立をしております。今でも冠名がついておりますけれども、豊橋の水泳ということで、清川政二さんがオリンピックでも活躍されておりますが、その清川記念 エイジグループ水泳記録会というの、運営しております。清川政二さんが、大変頭角を表してまして、第一回目は。日米対抗水泳大会に日本代表として出ましたが。21 年には日本水泳連盟にも加盟しまして、後からもお話をしますけれども、水泳協会は、清川政二さんなくしては。語らないというのが、協会の立場であります。いろんな会合に行っても、清川さんという名前がよく出てきますので、私たちが昔を思い出しながら勉強しながらやっております。

（いいだ）

はい、ありがとうございます。そんな豊橋水泳協会は、会員さんはどのくらいいらっしゃるんですか？

（天野）

豊橋水泳協会は特殊な団体です。会員はほとんどが教員 OB または教員ということでありまして、私も教員 OB の 1 人ですけれども、そういうところが、よその団体として、少しはちょっと違うのかなというように捉えております。ただ会員は、教員でありますので、部活動の指導が主な仕事の 1 つにはなっておりますけれども。ただ少し違うものは。小中の先生方が高等学校の試合の審判にも出かけていたり、あるいは高等学校の試合の運営について

も逆に小中学校の教員が競技の運営に協力している。そういうところが、ああ少し違うのかなと。まとめて言うと、小中高の連携がうまくいってるのかなとそんな風に思っております。

（いいだ）

そうなんですね。いよいよ水泳の季節といたしますか、プールで楽しむお子さんも多い時期になってきましたけれども。この 8 月 2 日に清川記念エイジグループ水泳記録会が今年も行われるんですね。冠についているこの清川さんについて詳しく教えていただきたいと思うんですが？

（天野）

清川さんは、豊橋の出身で豊橋中、現在の時習館ですが、名古屋商業学校を卒業しまして。昭和 7 年のロサンゼルスで 100 メートル背泳ぎで、初めて優勝をしました。この優勝につきましては、歴史的なこともあるということで、その日の夜には。関谷町から提灯行列をしたというようなところも記録に残っておりますし、また、その後の大会でも昭和 11 年のベルリンオリンピックでも 100 メートルの背泳ぎに 3 位と入ったということで、豊橋出身のオリンピック選手は、ただ清川さん 1 人でありますので。なんとか、我々も第二の清川を目指しててというようなことで、冠をつけさしていただいて大会の運営にあたっております。残念なことにまだ第二の清川が現れてきてないので、大変残念です。

（金田）

豊橋出身のオリンピックに出た人はもちろん何人か見えるんですけど、金メダリストっていうのは、清川さんだけなんですよ。やっぱり豊橋の人間としては、

覚えておかないといけないかなって思いますね。

（いいだ）

はい、そんな世界で活躍された清川さんの名前を冠した記録会が始まった経緯ってというのは何かあるんですか？

（天野）

豊橋公園の中に昭和 40 年に 50 メートルと飛び込みのプールを作った豊橋市民プールが完成したのに合わせて、オリンピック選手である清川さんともう 1 人「前畑がんばれ。前畑がんばれ。」で有名になりましたあの前畑さん。今は兵藤ですけど、そのお二人に模範泳法というか泳いでいただいて、今後の発展も示しながらということで記録会をやらさせていただいております。そうすることで第二の清川政二さんをどうしても育てたいという思いの中で歴史のある大会となり今年は 60 回目を迎えております。大会が始まりその数年後から豊橋南ライオンズクラブさんが資金的な面で援助をしようということで、ずっと援助をいただいて、最優秀選手賞とか、優秀選手賞とか標準記録を突破した人には、ささやかではありますが記念メダルを贈っております。そういうところを南ライオンズさんから援助してもらっております。今年は締め切りが終わりましたけど、一応 330 名の選手の皆さんの申し込みがありまして、8 月 2 日の日に大会をやるということで、今その準備を進めておるところであります。

（いいだ）

はい。今年も盛り上がりそうですね。そして、その翌日 8 月 3 日にはスポーツ協会主催の市民スポーツ祭 2025 水泳大会も行われるということですね。

れども、こちらの内容についても教えてくださいか？

（古田）

毎年 8 月 第 1 週目の日曜日に行っていて、小中高生や一般の方が参加される大会になります。実施する種目としては、すべて距離が 50 メートルの自由形、平泳ぎ、背泳ぎまたはバタフライで実施してるんですが、新たな試みとして今年度から年齢を問わずに、リレーを 4 人でやるんですけど、それを 4 人組んだら出れる、200 メートルのリレーで泳ぎはどの泳ぎでもいいんですけど、やろうということで今実施する準備を進めています。距離としても、あのチーム、さっき 4 人で言ったんですけど、少なくとも 2 人で泳いでもいいよってことで。

（いいだ）

じゃあ 1 人、100 メートルでも大丈夫ってこと？

（古田）

あの距離もそのチームによって、バラバラでもいいですよってトータルで 200 メートルでくださいということで考えています。タイムレース決勝ということで、全員が泳ぎ終わった後に、その種目のタイムの速い順に、上から上位 3 人が表彰されるというような形で進めていきます。参加する条件としては、市民スポーツ祭ですので、豊橋市内に住んでいらっしゃる方なら、参加できますよということなので、上の年齢の人 70 代 80 代、ほんと年齢の幅の広い大会になってます。

（いいだ）

もう今年度の申し込みは受付終了してるんですか？

（古田）

はい、今年度の大会の受付は締め切っていて、参加者としては、今現在 341 名を予定しています。

（いいだ）

皆さん、体調を整えて参加して欲しいですね。2012年ロンドンオリンピックメドレーリレーで銅メダルを獲得した加藤ゆかさんがゲストとして来られる大会があると聞いていますが？

（古田）

そうですね。平成26年から始まっているアクアリーナ豊橋カップ水泳大会というのがあります。アクアリーナという市民プールが新しく屋内型のプールということで、平成17年に完成しまして、公式大会で使う電光掲示板とか、タッチ板が入ったことで、タイムを自動で計測できるようになったので、競技者の人も気分を高めてより出来るような環境でやれる大会になります。その大会が今年で12回ということになります。今年度はもうすでに終わってるんですが、6月22日の日曜日に行ないました。今回も先ほど名前が出た加藤ゆかさんと佐藤ひさよしさんご夫妻にゲストとして来ていただいて、参加する人も下は小学3年生からで上は一般の方も、それこそ70代で80代の方も参加するような幅広い年齢層の中で、大会をやりました。個人の種目だけでなく、リレー種目も行い、全部で657人に泳いでもらいました。大会の中でも、加藤さん佐藤さんにワンポイントレッスンのような感じで、あの水泳教室を併せて、25メートルプールでやっていただいて、豊橋の水泳競技人口が増えたり、健康づくりに寄与することができたかなというふうに思っています。

（いいだ）

はい、ありがとうございます。それこそ水泳の普及振興っていうお話ありましたけれども、やっぱり、水泳の人口を増やすためには、小さなうちから水に慣れておくというか、水泳に親しむっていうのが、必要になってきますよね。

（古田）

そうですね。特にあの今小学校の体育も学校でプールを使わなくなってきて、民間プールでやってるんですが、回数も少なくなってるので、そういう機会はより大事かなという風に考えてます。その為に来週からスタートするんですが、初心者の小学生を対象とした水泳教室というのも、毎年実施しています。ただ希望者が以前と比べると減ってきているところはあったりしますので、それと指導者のほうも、先ほども会長から話があって、教員中心の構成なので夏休みの研修等が重なってなかなか参加できる人が少なくなっていて、指導者不足も今課題として上がっています。

（いいだ）

そうなんですね。水泳競技の普及にあたって、豊橋水泳協会さんが抱える問題とかっていうのは、やっぱりその辺のところですか。

（天野）

今思っていることは、教員が中心の業界でありますので。できるならいろんな職種の方に協会に入っていていただいて、水泳の普及に力を貸していただけると大変ありがたいなとそんなふうに思っております。現状はですね、競技という立場でも、競技人口が少し少なくなっておりますので、競技人口をなるべく増やすようにしたい。大元はやっぱり水を怖がらない子供を育てるということが大

事なことだと思います。特に水の事故が最近報道でも川で溺れたとか、いろいろなことがあるもんですから、そういうことも、減らして行くことも大事なかなと思っております。

（古田）

はい、ありがとうございます。そこら辺のところ、古田さんはどういうふうに今後頑張っていこうっていうか思われていらっしゃるでしょうか？

（古田）

そうですね。自分も小学校の教員をやっているんですけども、やっぱりなかなか顔もつけるのが、怖いっていう子もいたりして、まず、先ほど会長が言われたように、水が怖くないように。水泳の授業の時に、水の中でバシャバシャ、水しぶきをたてながら、楽しく遊んでる中で、徐々に、顔つけれるようになったとか、そんな感じで、水の中に入っていると気持ちいいんだな、楽しいんだなあっていう感覚をしっかりと指導を、学校の方でして行きたいと思いますし、協会としても水に親しめるようなことを作りたいなという風に思います。

（いいだ）

何かあった時にね。やっぱり泳げるっていうのは、すごく大事な命を守る上でも大切なことだと思いますし。そして、そこからこう一歩進んで、楽しいから、こうもっと速く泳ごうっていう感覚につながっていくと本当にいいですね。

（天野）

やっぱり水を怖がっては、何にもできないという思いがありますので、水を怖がらない、水に親しむという機会をなるべく多く取るようにということで、出来る限り水に親しむ取り組みを始めの一步としてあるように、努力をしております。

ます。

（いいだ）

本当にちょっとゲーム性を持たせながら、こう楽しく水に親しむって機会をどんどん水泳協会さんの方で作っていただければいいかなと思いますので、いろいろな活動の方よろしく願いいたします。さあ、金田さん、もうね。そろそろ夏の時間に入っておりますけれども。

（金田）

それでは、スポーツ協会から3点ほど紹介させていただきます。1点目は豊橋みなとシティマラソンについてです。本年度も11月の2日日曜日に豊橋総合スポーツ公園を発着点とする三遠ネオフェニックスラン第43回豊橋みなとシティマラソンを開催いたします。10キロ3キロ2キロとですね、年齢に分かれて走るマラソンを始め3歳以上が参加できる。爽わやかジョギングのほか、競技用の車椅子の部など、幅広い世代が参加できるイベントとなっております。参加定員は3300名予定をしております、7月4日から募集を開催をいたしており、8月8日までが募集の期限になってますので、奮ってご応募をいただきたいと思います。詳しくは大会ホームページありますので、そちらをご覧ください。参加賞の用意をさせていただきますので。それから2点目ですが、今年も8月の24日日曜日の6時から豊橋市民球場でウエスタンリーグ、恒例のプロ野球ウエスタンリーグを開催します。対戦なんです。中日ドラゴンズとくふうハヤテベンチャーズ静岡というチームですね。これはあのファームというか、ウェスタン、あるいはイースタン独特のチーム参加になってまして2軍しかないというチームというように聞いてます。注目して

ほしいと思うんですが、今チケット前売り券発売中です。スポーツ協会でも発売をしております。全席自由ということですが、内野席は大人が 1000 円子ども 500 円、外野は大人 600 円、子ども 300 円ということです。当日もございますので、ぜひお越しください。ただし駐車場ありませんので、自転車とか公共交通機関を利用していただけたらと思います。はい3点目のお知らせです。これは事報報告という形になってしまうんですが、7月18日の金曜日に市役所の講堂で令和7年度のインターハイそれから、定時制通信制大会の出場激励会を行ないました。本年度のインターハイ。これは全国高等学校総合体育大会なんです。7月の28日に始まりまして、中国地方を中心に開催されて、今真っ最中というところですね。夏の大会は30種目で行われまして。高校生最後の大会となります。本市からは66名の出場ということで予定をされています。またもう1つのインターハイと呼ばれる全国高等学校定時制通信制体育大会も7月25日から始まりまして、54人の出場ですね。先ほどと合わせると120人の高校生の皆さんが全国の大会に出場することになっています。はい昨年と同様、今年も大勢の選手が出場することになります。出場される皆さんの健闘を期待したいと思います。県の大会、東海地区の大会を勝ち抜いて全国の切符を手に入れたということですので、悔いのない試合をしていただけるといいかなと思います。その結果により、優秀選手の方には結果報告で、来てもらえると思いますので、良い結果がもらえることを楽しみにしております。はい、以上でございます。

(いいだ)

そういうことを含めてスポーツ協会のHPをご覧くださいければと思います。ス

ポーツ祭、スポーツ教室、パートナーズ事業も見ていただけたらと思います。
今日は豊橋水泳協会から会長の天野明彦さん。そして理事長の古田哲也さんのお二人をお迎えして、金田さんと一緒にお話をお伺いしました。ありがとうございました。

（天野、古田、金田）

ありがとうございました。